

2025赤穂市総合戦略（案）に対するパブリックコメントの実施結果

募集期間 令和3年1月25日（月）～令和3年2月24日（水）【31日間】
 提出された人 2人（提出された意見 7項目）

項目	寄せられたご意見等の概要	市の考え方
基本目標2 社会動態（転入・転出）の改善	義務教育、高等学校・福祉大学の教育環境評価の向上を目指してはどうか。それには、コミュニティ・スクール等文科省が目指している活動で評価を得て報道されることが必要。	コミュニティ・スクールの地域活動が、単年度の単発的な地域活動ではなく、複数年にわたり効果を上げる地域活動となるよう、各学校区での活動を支援するとともに、文部科学省や兵庫県教育委員会の表彰等への推薦を積極的に行っていきます。
	空き家は、特に御崎に多いが、その対策は、高齢者が他地区からの転入してくることで改善できる。元企業保健設備の活用をすべきではないか。	御崎地区については、既存の保養所などの施設の活用を容易にするため、建物の用途変更などの要件が緩和される特別指定区域に指定しています。その制度を高齢者の方だけでなく、若年・子育て世帯等、さまざまな方に活用していただくことで移住・定住および地域活性化を促進していきたいと考えています。
	病院や高齢者対策が多く有る環境をアピールすれば人口対策になる。	年齢を問わず医療機関の情報は、移住希望者の気になる点であり、定住移住相談会でも紹介をしているところです。引き続き、赤穂市の魅力や施策をしっかりとアピールし、移住、定住につなげていきたいと考えています。
	赤高の進学校としての学校力（国公立大学入学）向上対策による改善を提言します。また、赤高は選択に「倫理教育」がなく素行学学習が出来ていない。赤穂市民が山鹿素行を知らないのはその関係による。結果として赤穂市民は倫理観に疎いと見られている。	赤穂高等学校は、本市唯一の高等学校であり、近年、定数削減が行われていますが、学力の向上を図るとともに、本市生徒が赤穂高等学校へ進学できるよう、兵庫県および兵庫県教育委員会に働きかけていきたいと考えています。

基本目標 3 交流・関係人口 (来訪者や地域 と多様に関わる 人)の創出	赤穂では義士関係、山鹿素行関係等全国向けに誇示すべき文化財が活用されていない。この活用は赤穂が全国に向けて進めるべき課題であり責務です。	赤穂市の豊かな歴史文化遺産については、『赤穂市歴史文化基本構想』等において、市内の多様な歴史文化について把握するとともに、これらを守り伝え、活用していくための方針を検討してきたところです。今後も「郷土の歴史文化への関心向上」の施策の内容に掲げているように、引き続き歴史文化遺産の調査研究、普及啓発と公開活用の推進に努めたいと考えています。
	地域資源を活用した魅力の創出ならびに赤穂の魅力発信に関係して、赤穂市はもっと山鹿素行に大きく注目し、大いに宣伝すべきであり、単に顕彰するだけでなく、山鹿素行学を活用し、もっと積極的に取り組み、大いに活用すべきではないでしょうか。	山鹿素行については、歴史博物館に山鹿素行コーナーを設けるなど、顕彰に努めており、ご理解をお願いします。
その他	<p>市民が不名誉に感じることは、何度も繰り返される市職員の汚職の問題が挙げられる。</p> <p>赤穂市は、大石内蔵助と並び赤穂市に関係する偉大な人物である山鹿素行の教えにもっと目を向けて、公務員はそれぞれの地域や国家の担い手であることを自覚して、その道の研鑽に励み、自らも道徳を身につけて、人々の模範になり仁成（心温かい政治）を行わなければならない。</p> <p>倫理教育に力を入れ、山鹿素行の教えを生かすべきです。</p>	<p>私たちは、「つねに市民の目線に立って、全力を挙げて公正かつ公平に、しかも効率的に仕事を進める責務を担っており、そうした態度で日々仕事に全力を傾注している。」という市民の信用と信頼に支えられ、規律されていることを行動の原点としなければなりません。しかしながら、この度の事件により、本市の信用は地に落ち、これ以上どうしようもないほど大きく失墜してしまいました。</p> <p>原因の一つとしては、職員個人の服務規律及び法令遵守の欠如があったことは否定できません。</p> <p>今回の事件を重く重く受け止め、二度と不正行為を起こさない、起こさせないという決意の下、今までにも増して服務規律の確保と法令遵守の徹底など倫理教育に努め、市民の信用・信頼を一日も早く得られるよう一丸となって取り組んでまいります。</p>